

2. 日本語プログラム報告 (2014年4月～2015年3月)

田中 信之
濱田 美和
副島 健治

国際交流センターでは、富山大学に在籍する外国人留学生のための日本語プログラムとして、日本語研修コース、日本語課外補講、総合日本語コース、日韓共同理工系学部留学生プログラム、この4つを提供している。2014年度は、前期、後期ともに、日本語研修コース、日本語課外補講、総合日本語コースを開講した。日韓共同理工系学部留学生プログラムについては、2014年度は学生の配置がなかったため、開講しなかった。

2014年度は、前期に42人、後期に56人の外国人留学生及び外国人研究者がセンターの日本語プログラムを受講した。各日本語プログラムでは、専任教員がコーディネーターを務め、毎日の授業内容と学生の出欠状況を記録・閲覧できる「授業記録システム」を活用して受講者の学習の進捗状況を把握し、日々の授業に取り組むことができた。

プログラム別に見ると、日本語研修コースでは後期に初級クラス受講者間で日本語の習得状況に大きな開きが出たために、コース途中から特別クラスを設けて対応した。また、春季休業期間中にも補習クラスを開講した。日本語課外補講では試行的な取り組みとして、高岡キャンパスで前期、後期を通じて各期2科目を開講した。総合日本語コースでは10月より、これまで日本語・日本文化研修留学生に対してのみ行っていた履修証明書の発行を、協定校からの短期留学生に対しても行うことにした。

日本語プログラム以外にも、留学生の日本語学習を支援するためのサイト「日本語学習支援サイト RAICHO」の運営を行い、富山大学で学ぶ留学生の日本語学習を授業以外の面からも支援した。

以下、日本語研修コース、日本語課外補講、総合日本語コース、日韓共同理工系学部留学生プログラム、日本語学習支援サイト RAICHO の順に、2014年度の活動状況について報告する。